



活動費の一部として
富士宮市より
助成金をいただいて
活動しています

特定非営利活動法人 富士宮市手をつなぐ育成会 会報誌

発行日 令和6年11月1日

育成会だより

2024年11月号



NPO法人本部

〒418-0022 富士宮市小泉 2530-2

TEL (0544) 22-0502

FAX (0544) 22-0502

E-mail ikuseikai-f@rx.tnc.ne.jp

理事長 高橋 房恵

活動報告

社会人の会「高校生ボランティアとポッチャを楽しもう！」

9月28日(土)

富岳館高校 介護実習室 担当:二中地区

今年の社会人の会は、富岳館高校の生徒さんたちに教えていただきながら、ポッチャに挑戦しました。本人7名、付き添いの方7名、学校から11名の参加がありました。富岳館高校の本館介護実習室で、生徒さん達の笑顔とハロウィンの飾りに迎えられ、楽しい時間が始まりました。

ポッチャはジャックボール(目標球)と呼ばれる白い球に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。皆さんどこかで体験したことがあるでしょうか？

当日は、上手く近づけることができると「ヤッター！」という歓声があがるなど、大いに盛り上がりました。付き添いのお父さんお母さん方も熱中していらっしやいました。参加された皆さんからは、「球が思ったより重かった」「なかなか思い通りの所に投げるができなかった」「またやってみたい」などの感想が寄せられました。

最後に参加者一同で記念写真を撮り、交流を深めたひとときとなりました。

県立富岳館高校 こども地域福祉系列 並びにボランティア部の皆さん、ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。

(報告者 二中地区 伊藤 玲子)



ポッチャってどんな競技??

ポッチャは、ヨーロッパ生まれのパラリンピック正式種目です。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを、投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりしていかに近づけるかを競います。コートはバドミントンコートほどの大きさで、個人戦（1対1）、ペア（2対2）、チーム戦（3対3）のいずれかで戦います。

ゲームは、先攻的となるジャックボールを投げた後、続いて1投目の投球を行います。その後、後攻側が1投目の投球を行い、以降はジャックボールから遠い位置にボールがあるチームの選手が次の投球を行い、各チーム6球を投げ終わった時点で、ジャックボールの一番近くにボールがあるチームが勝者となり、負けたチームのボールよりジャックボールに近い球数が勝利チームの得点となります。

ポッチャは、ルールをしっかり理解していなくても、審判が投げる人をパドルで指示するので安心です。投球も、上投げ・下投げ・横投げなど、どんな投げ方をしてもいいので、ボールを持ち白いボールめがけて投げられれば参加できます。また、自分でボールを投げられない人でも、介助者に手伝ってもらってランプと呼ばれる補助具を使ってボールを転がしたりすることもできます。

ポッチャのルールはカーリングに似ていますが、一番の違いは的であるジャックボールの位置を自由に変えられることです。

最初に投じるジャックボールの位置を、

◎相手が苦手とする遠い位置に投げるか、

◎自分が得意とする近い位置に投げるか、

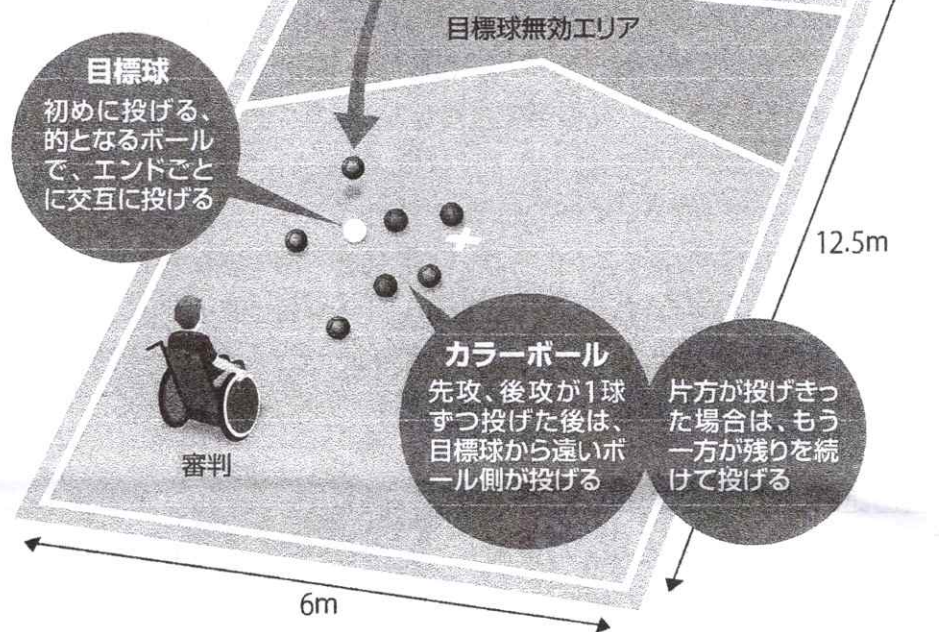
など、戦略の組み立て方によって戦い方が大きく違ってきます。

また、試合途中でカラーボールをぶつけることで、ジャックボールの位置を変えることもできるため、大逆転を狙ったりすることもできます。

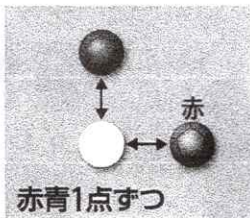
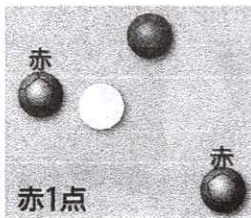
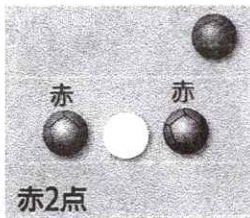
障害や年齢に関係なく、皆で楽しめるポッチャ。今後また何かの機会に皆で楽しめるといいですね！

スポーツ教室でもやってみますか??

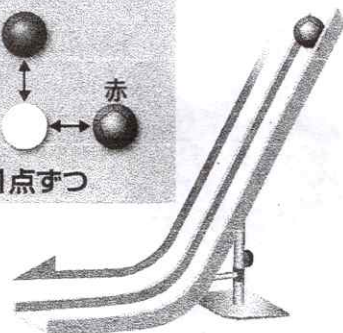
白い目標球に6球ずつのカラーボールを投げたり転がしたりし、どれだけ多く近づけるかを競う



得点の数え方 相手球より目標球に近い球の数だけ得点になる



勾配具（ランプ）
ボールを投げられない選手が使う。決まった形はない



本人部会 まかいの牧場

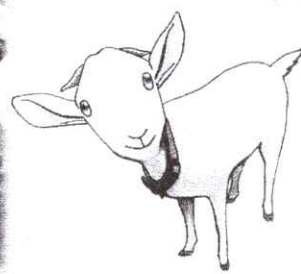
10月20日(日)、本人部会の話し合いで決まった「まかいの牧場」に、本人10名、保護者1名、支援者2名で行って来ました。4名は今年からのメンバーです。

前日の真夏日から一転して真冬のような寒さでしたが、スタンプラリーをしながら元気に歩き、楽しい時間を過ごしました。

お昼はみんな好きなものを食べて大満足♪ 動物と触れ合ったり、おうちにお土産を買ったり、秋の一日を楽しみました。

まかいの牧場に行ってみたら変わっていてビックリしました。みんなで動物にエサをあげたり、トラクターにも乗って楽しかった！ カレー&ナンが美味しかったです(^_^)

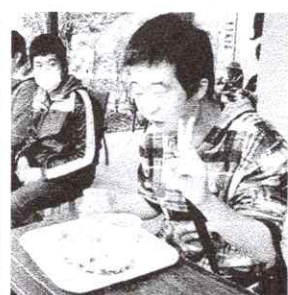
部長 早川洋太



引き続き **メンバー募集中!**

次回は、3月16日(日)12:00~
「**東部地区ふれあい交流会**」に参加
します! みんなでお弁当を食べて、
午後はお楽しみ♪ 名刺交換も!
東部地区の仲間(本人)が集まりま
す。よかったら参加しませんか?

本人部会に参加ご希望の方は、まずはご家族から、本部までご連絡ください。入会用紙にご記入の上、お申し込みいただきます。



「災害時にできること」 ～能登半島地震を育成会の視点から考える～

今年1月1日の能登半島地震。元日の午後、けたたましく鳴り響いた緊急地震速報のアラーム音を皆さんはどこで聞きましたか？ お正月の団らんの時間…被災された能登の皆さんのその後のご苦労は計り知れません。今回、石川県手をつなぐ育成会の藤井 優会長が沼津まで来てくださり、お話しくださいました。

公益社団法人石川県手をつなぐ育成会は、県内市町に18の地区育成会組織（会員約1200人）を持ち、組織率は約12%ということで、能登半島地震の被災地である珠洲市・能登町・輪島市・穴水町・七尾市・志賀町の6地区育成会には約200名の会員さんがいます。

藤井会長は右の地図で言ったら左下の方、金沢市のさらに南西に位置する白山市にお住まいで被災してはいないのですが、県育成会の会長としてのお立場、またご自身がB型・生活介護・グループホームなどを手掛ける社会福祉法人の理事長であることから、育成会として災害時にどうあるべきか、お話しくださいました。

今回の地震では、大きな揺れによって、家屋の倒壊、津波、液状化など甚大な被害が出ています。輪島市の方が隆起し、能登町の方が沈下するような、能登半島全体がぐにゅっとよじれてしまったような大きな地盤の変化によって、その後の復興も思うようには進んでいません。幸い、会員さんと障害のある子の命に係わる被害はなかったということです。

能登半島はよく「伊豆半島に似ている」と言われます。半島全体に小さな集落が分散・点在しているとのこと。道路が寸断されればたちまち「陸の孤島」です。今回の地震でも、土砂崩れやトンネル崩落、道路の寸断などで集落の孤立が相次ぎ、2週間以上経過した1月17日時点でも7つの孤立集落があったということです。被災した人々は、倒壊していない公民館やビニールハウスなど、小さい自主避難所で避難生活を送っていたということで、行政が避難の全体を把握するのは容易でないことがよくわかります。

いわゆる「福祉避難所」は機能したか？…正直なところ、寒い時期で一部の人だけが個別の暖房を使える状況でなく、物資もしばらくは届かず、発災直後は「機能しなかった」のが本当のところのようです。小さな自主避難所で近隣住民で助け合って、お正月で食べ物もしっかりあったのでそれを分け合って過ごしたそうです。それでもしばらくすると日中支援事業所や学校などが避難所として機能しはじめたとのこと、そうはなっても今度は障害のある人の行動に「静かにさせる」「親がしっかりみろ」といった声があるなど厳しい状況もあったり、物資はすぐほしいから避難所近くであえて車中泊をしていたご家族もあったそうです。



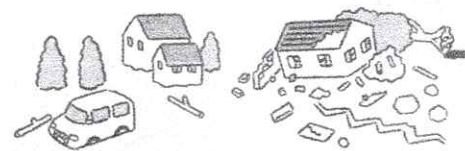
能登半島地震の
推定震源

1月1日午後4時10分
発生 of 震源

— 判明している断層
不明の震源断層(推定)

(気象庁などへの取材を基に作成)

インフラの復旧で最も早かったのは**移動通信インフラ**。スマートフォンや携帯電話です。バッテリーや充電設備の問題はありますが、災害時には必要不可欠なものと位置付けています。**名簿の電話番号が固定電話であることはこの観点から見直す必要(→携帯電話へ)があるのかもしれませんが。**



また、避難が長期化・広域化する中で、**DWAT(災害派遣福祉チーム)**による「**福祉的トリアージ**」が行われたそうです。福祉的トリアージとは、一般避難所や福祉避難所において、保健師や介護福祉士・社会福祉士などの**専門職が、避難者の状況を福祉的な視点で判断し、適切な支援につなげる**ことです。健康状態や困りごとを聞き取るほか、総合的に判断します。



・要支援者・要配慮者が避難所で生活継続が可能であるか ・避難所における福祉ニーズは何か

これにより、一般避難所から福祉避難所へ、また余震などを考慮して少し離れた大型施設へ避難する1.5次避難や、環境の整ったホテルや福祉施設などへの二次避難が進められます。しかし、ご家庭の事情もあり、会員さんの事例では家族がバラバラになるケースもあったようです。

藤井会長は、B型と生活介護の多機能型事業所2施設と、グループホーム5棟を運営する社会福祉法人の理事長でもあります。その知見もあり、避難先として、比較的新しく建てられた能登のグループホームが大変有用だったとおっしゃっていました。耐震性もあって被害の少なかったグループホームでは、2階は利用者が使い、1階は地域の人々の避難所になる、そんなケースも多かったようです。



育成会として今後防災対策で取り組むべきこととして、藤井会長は次のことを挙げておられます。

- ◎まず取り組むべきことは**障害者(会員)の安否確認**
- ◎**地域の育成会会員がLINEグループでつながっていることは重要**(安否確認・情報共有の視点で)
- ◎避難行動要支援者名簿や避難所でのニーズ聞き取り把握では、**人員面や時間・スピード、正確さに課題**がある

また、全国手をつなぐ育成会連合会が行っている義援金については、自宅の全壊 or 半壊、ライフラインの状況、避難期間などの観点から金額を決定し、石川県内の被災されたすべての会員に分配されたということでした。

9月には能登半島を豪雨が襲い、仮設住宅の4割が浸水したとのこと。復旧したはずの道路もまた濁流に流されてしまったり…地震で倒壊した家屋の公費解体も1割程度の進捗で進まず、電柱も傾いたままというのが現状のようです。一日も早く平穏な日常を取り戻せるよう祈るばかりです。

防災の最後の砦は、やはり「**隣人との関係づくり**」だというのが「**共通認識**」で、それはすなわち私たちの目指す「**共生社会の実現**」にもつながるのだと強くおっしゃっていました。そのため第1歩は「**我が子と地域の防災訓練と一緒に参加する**」、そして**近隣の方に我が子を知ってもらうことが大事**なのです。**共助・自助の備えを今一度見直したいですね。**

能登半島地震にかかる

第3次義援金募集のお願い

全国手をつなぐ育成会連合会では10月以降も義援金を募集しています。広域避難を余儀なくされている方も多く、9月の豪雨被害もあり、生活再建への道は大変険しいものになっています。親子レクリエーション、クリスマス会、役員会の際募金箱を用意しますので、ご協力をお願いいたします。

2月末日当会締め切り



児童部会

9月6日(金)に今年度1回目の児童部会が対面で開催され、新しく児童委員となった小野保代さん(根北大富士地区・おひさんは富士特支B中2)が出席しました。

静岡県障害支援局障害福祉課、県教委特別支援教育課並びに義務教育課からもご出席あり、行政説明がありました。障害福祉課 知的障害福祉班の方からは、この10年間で子ども人口は減っているが、県内では療育手帳所持者は18歳未満で1.51倍、18歳以上でも1.41倍、特に手帳Bの増加が1.6倍と目立っているというお話がありました。同様に、特別支援学級在籍者は1.85倍、特別支援学校在籍者は1.18倍となっているそうです。

富士宮からは、①北部地域の通学バスの問題、②富士特支のプール老朽化の問題、③おむつ代補助についてなど要望として出させていただきました。バス問題は度々この場でも取り上げられ承知しているとのことでしたが、一方で、出席者の中からは「昔娘と一緒に、乗り換えがあり2時間かかったが通学した。社会経験になった(小出会長)」「現在路線バスに乗り一緒に自力通学している。それもよい経験になっている(他市児童委員)」といったお声もあったとのこと。それができればよいのですが…

就労支援部会

9月18日(水)に就労支援部会が行われています。富士宮からの参加はありませんが、県からの資料や議事録が静岡県手をつなぐ育成会のホームページで公開されています。ジョブコーチや静岡県独自の障害者雇用推進コーディネーターについても紹介されています。



静岡県
手をつなぐ育成会
ホームページ

相談員の活動

定例会

毎月第1木曜を中心に定例会を行っており、9月・10月は市役所などと合同の定例会でした。

企業訪問

相談員の活動として例年行っている企業訪問は、9/10(火)2社 9/12(木)1社 9/17(火)3社 9/19(木)1社 計7社訪問して来ました。ハガキ対応では、14社の返信がありました。

退職もなく定着してる企業、高齢化など不安材料など様々ありますが、基本皆さん真面目にお仕事されてました。企業側も、本人や家族との連絡も定期的に行ったり、「花壇で野菜作り収穫してお昼に調理して食べてます」など工夫されてました。これからもできるだけ雇用していきたいとおっしゃっていました。



施設調査

10/17 就労継続支援A型事業所のクローバー(万野原新田)の見学に行ってきました。

今はお弁当が主で、企業(昼)、個人(高齢者 昼・昼夜)に1日500食位、多い日は1,000食の注文が入り、米研ぎ炊飯作業のため5時出勤の方がいたり、製造と配送と手分けしてるそうです。

まだ準備段階ですが、上井出に古着屋(販売)、メルカリの出品物の準備(服サイズ測定、コインランドリーで洗ってたたむ)や、NORTH FACE(販売契約済)製品販売などを予定してるそうです。

10/24には生活介護事業所メルシー(富士市伝法)を見学しています。元歯科医院を改装し、令和2年にスタートした事業所で、定員20名、この日の利用者さんは19名でした。曜日ごとに活動メニューも異なるようです。食事は1対1で対応しているそうです。

11/12には 富士東分校の見学を予定しています。

(令和6年度相談員代表 平井 博美)

役員会より

10月19日に今年度4回目の役員会が行われました。
各種報告・今後の計画について進捗状況の確認をしました。



開催日	行事	担当地区	検討内容など
未定	バザー代替企画	一中地区	秋の子どもまつりへ参加ができませんでしたので、再度参加イベント等調整中です。
12月 1日 (日)	クリスマス会 	北部地区	マジックの矢田さんと、コールエーコンさんに来ていただいて、歌あり、ダンスあり、バルーンアートありの楽しい会を計画中。 ピンゴゲームなども行う予定。 定員を50名として、参加者を募る。 <u>別紙案内同封</u>
令和 7年 1月 11日 (土)	特別支援学校・学級 令和7年 20歳を祝う集い 	富士根南地区 地区会員の皆さま 1月10日の前日 準備17:30～ 1月11日当日の お手伝いをお願い します！	10月18日に社会教育課を交えた実行委員会を開催した。対象者は27人。 昨年の会を振り返り、見直しを行った。 10月末頃、市役所より案内が発送される。 特支分として、昨年電子申請の未着が多かったため、郵送のみの出欠確認で締め切りを12月6日とした。 次回実行委員会は12月11日(水)。
2月 2日 (日)	講演会 (仮)我が家の防災対策	根北・大富士地区	市役所 危機管理局に講演を依頼している。 障害児者と暮らす我が家の防災を、今一度一緒に考える機会としたい。

次回 役員会は、12月7日(土)です。

☆富士根南地区☆

10月5日(土)に、第1回富士根南地区会をステーキのあさくま富士宮店にて行いました。ランチ会という形では5年ぶりになります。本人4名を含む9名の方に出席いただきました。お楽しみのランチを食べながら、地区担当行事である「二十歳を祝う集い」についての話し、お子さんやご家族の近況などで話がはずみ、充実した時間となりました。

出席いただきました皆さん、ありがとうございました。

(報告者 金澤 祥子)



●●●このあとの予定●●●

日 時	内 容	場 所
11月9日(土) 10:00~	根北大富士地区 地区会 防災食を作って食べよう	福祉会館 調理室
11月10日(日) 7:50 集合 8:00 出発	親子レクリエーション 「航空自衛隊エアパークと はままつフルーツパーク BBQ」	集合場所 富士宮市役所東側
11月14日(木) 10:10~ あと2名参加者募集中	事業所見学 (株)en A型 sora、 B型 konoka、グループホーム Yell	福祉会館 第2 駐車場 10:00 集合
11月16日(土) 19:00~	第2回 理事会	福祉会館 第1 会議室
11月28日(木) 10:30~ あと2名参加者募集中	事業所見学 すてっぴあっぴ (B型・生活介護) サポートセンターあさひで (B型)	明日の風 ふれあい 10:20 集合
12月1日(日) 受付 13:00~ 開始 13:30~	クリスマス会 別紙案内	福祉会館 第1・第2 会議室
12月7日(土) 19:00~	第4回 役員会	福祉会館 第1 会議室
1月11日(土) 受付 13:00~ 式典 13:30~	令和6年 特別支援学校・学級 20歳を祝う集い	富士宮市役所 7階 特大会議室
1月25日(土) 19:00~	第5回 役員会	福祉会館 第1 会議室
2月2日(日) 10:00~ 詳細は次号にて!! ぜひ予定に入れて おいてください!	講演会 テーマ防災 「(仮)我が家の防災対策」 講師:富士宮市 危機管理局	福祉会館 第1・第2 会議室 根北大富士地区の方は 講演会の後 地区会になります
2月9日(日) 10:00~	四中地区 地区会	福祉会館 第3 会議室



20歳の皆さん、おめでとうございます

特別支援学校・学級 令和7年 20歳を祝う集い

と き 1月11日 土曜日 受付 13:00~13:30
式典 13:30~15:00
と ころ 富士宮市役所 7階 特大会議室

対象の皆さんには
富士宮市から案内
が送付されます。
期日までに返信を
お願いします!

編集後記 地区社協の「三世代交流まつり」に参加しました。行きたがったのは誰より息子です。中2の3学期からコロナが始まって、卒業以来一度も学校内に立ち入れなかったのが、母校で行われることが何よりうれしかった様子。どんどん一人で先に行っちゃいました(-_-) 中学生の吹奏楽やお琴の演奏もあり、福ろう製品の販売もあり、いい時間でした~(清)

発 行 特定非営利活動法人 富士宮市手をつなぐ育成会
〒418-0022 富士宮市小泉 2530-2
TEL&FAX 0544-22-0502
編 集 清 広美 加藤 志乃 米山かおり
ご投稿お待ちしております!



育成会 HP



育成会 LINE